日野市横断歩道橋長寿命化修繕計画







令和４年10月策定

令和８年10月改定

日野市　まちづくり部　道路課

目　　次

１　横断歩道橋長寿命化修繕計画の目的

２　横断歩道橋長寿命化修繕計画の対象横断歩道橋

３　横断歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針

４　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

５　横断歩道橋長寿命化修繕計画策定の考え方

６　横断歩道橋長寿命化修繕計画による事業計画

７　横断歩道橋長寿命化修繕計画による効果

1　横断歩道橋長寿命化修繕計画の目的

【目　的】

日野市は現在3橋の横断歩道橋を管理しています。これらの横断歩道橋は今後、老朽化し、架替えによる財政負担が大きくなることが懸念されています。計画的かつ予防的な修繕を行うことで横断歩道橋の長寿命化を図り、老朽化する横断歩道橋の維持管理コストの縮減と予算の平準化を行うことを目的とします。

【計画期間】

令和4年度から令和13年度

2　横断歩道橋長寿命化修繕計画の対象横断歩道橋

横断歩道橋長寿命化修繕計画の対象とする横断歩道橋は、管理横断歩道橋全ての3橋としています。

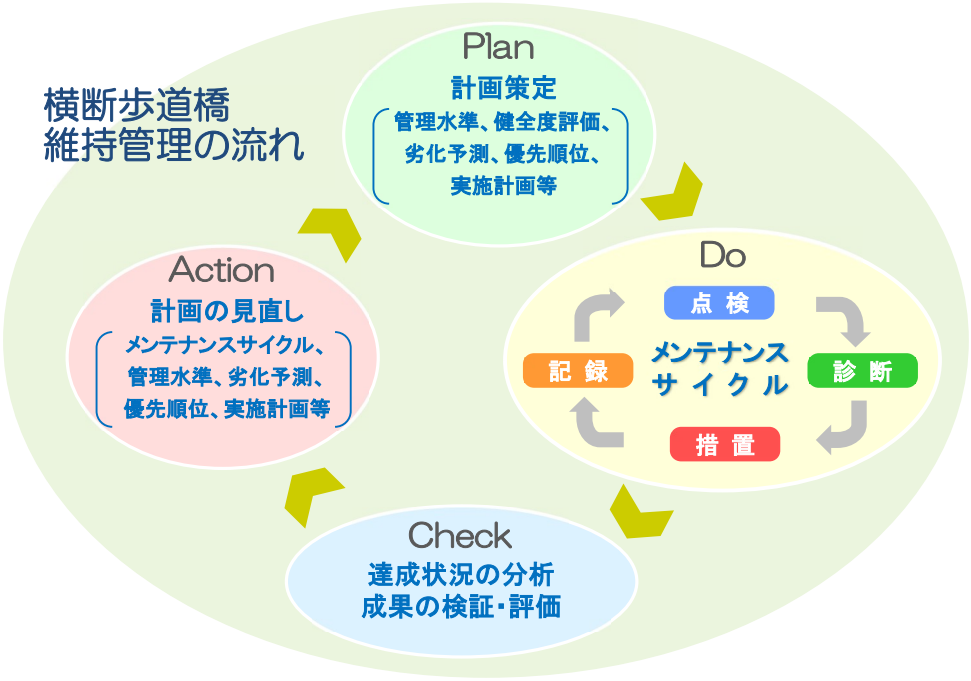
令和８年度(2026年度)計画策定横断歩道橋数	３　（橋）

3　横断歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

日野市では、平成28年度から横断歩道橋の点検を行っており、今後も定期的に点検を行っていくことで安全確保に努めていきます。

横断歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに係わる費用の縮減に関する基本的な方針は以下の通りです。

- ◆ 横断歩道橋の健全性を把握するため、定期的に点検を行います。
- ◆ 対症療法的な従来型管理から、劣化の進行を予測した上で、損傷が深刻化する前に修繕を行う計画的管理へ転換し、横断歩道橋の長寿命化を図るとともに、修繕・架替えに係わる費用の縮減を図ります。
- ◆ 点検結果より健全性の評価を行い、「跨線横断歩道橋」「幹線市道Ⅰ号線横断歩道橋」を重要度の高い横断歩道橋とし、各横断歩道橋の特性に応じ優先順位を決定した上で、対策実施の優先順位付けを行います。
- ◆ ライフサイクルコストを試算し、最適な修繕計画を策定し、横断歩道橋に係わる維持管理コストの平準化を図ります。



4　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

健全度把握の基本的な方針

横断歩道橋長寿命化修繕計画の対象横断歩道橋については、横断歩道橋の架設年度や立地条件等を十分考慮しながら、横断歩道橋の状態を早期かつ的確に把握するために『横断歩道橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）』（国土交通省 道路局 令和６年３月）及び『歩道橋定期点検要領』（国土交通省 道路局 国道・技術課：令和６年９月）に基づいて5年に1度の定期点検を実施します。

日常的な維持管理に関する基本的な方針

土砂撤去等の損傷要因の除去を目的とした日常的で地道な軽作業を行っていくことが、横断歩道橋の長寿命化に対して極めて有効となります。横断歩道橋点検、損傷に対する修繕等と併せて、横断歩道橋における損傷の進行の予防を目的として、清掃等の日常的維持管理の実施に努めます。

5　横断歩道橋長寿命化修繕計画策定の考え方

◆ 『横断歩道橋定期点検要領（技術的助言の解説・運用標準）』（国土交通省 道路局 令和６年３月）及び『歩道橋定期点検要領』（国土交通省 道路局 国道・技術課：令和６年９月）に基づいた点検を行い、その結果から現状の損傷把握と健全性を評価します。

〔「横断歩道橋定期点検要領」による判定区分〕

	区　分		状　　態
良	Ⅰ	健全	横断歩道橋の機能に支障が生じていない状態。
	Ⅱ	予防保全段階	横断歩道橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	Ⅲ	早期措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
悪	Ⅳ	緊急措置段階	横断歩道橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

◆ 「跨線横断歩道橋」「幹線市道Ⅰ号線横断歩道橋」を重要度の高い横断歩道橋とし、各横断歩道橋の特性に応じ優先順位を決定します。

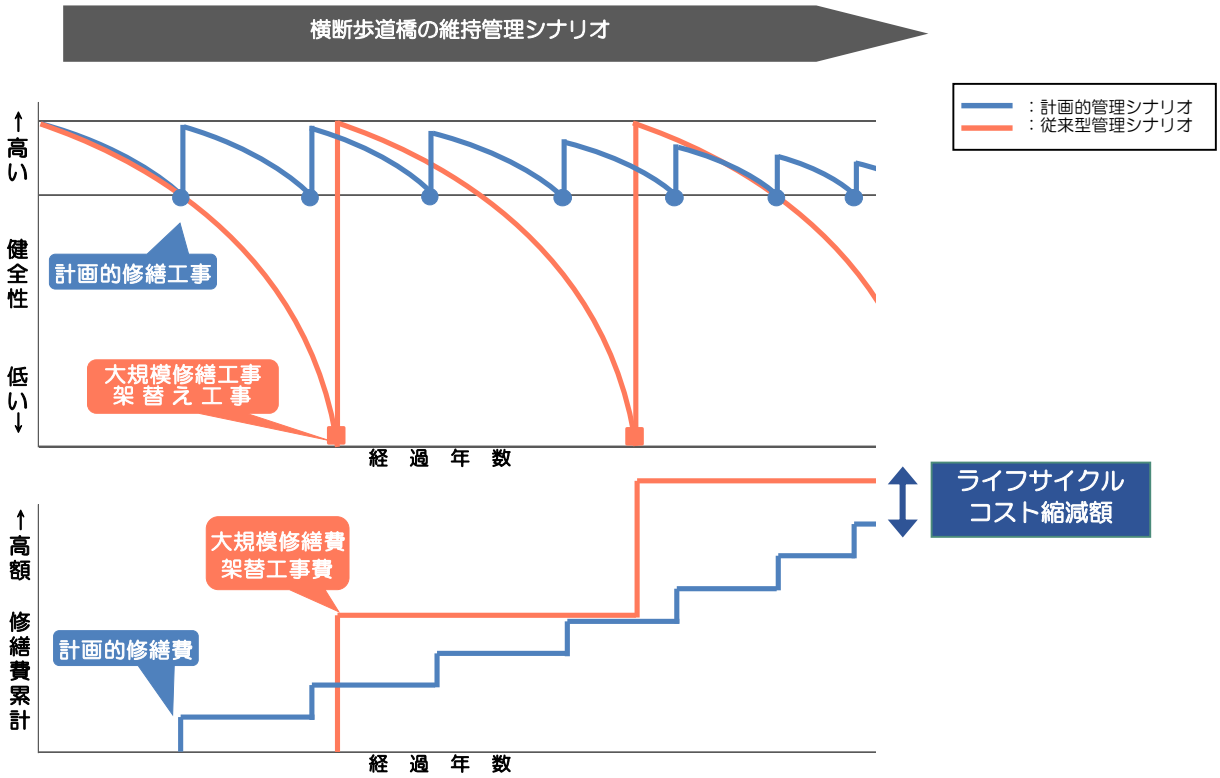
◆ 維持管理シナリオを設定し、修繕時期あるいは架替え時期の検討を行います。

・計画的管理シナリオ・・・定期的に点検を行い、損傷が深刻化する前に修繕を実施すること。

・従来型管理シナリオ・・・損傷が深刻化してはじめて大規模な修繕あるいは架替えを実施すること。

◆ 各管理シナリオについてライフサイクルコストを比較し、経済性の優れた計画を策定することにより、横断歩道橋に係わる維持管理コストの平準化を図ります。

◆ 策定した計画に基づいて修繕・架替えを実施します。また、定期的な点検と計画の見直しを実施し、一連のサイクルを繰り返して、横断歩道橋の長寿命化を図ります。



6　横断歩道橋長寿命化修繕計画による事業計画

横断歩道橋長寿命化修繕計画では、定期的な点検や計画の見直し、計画的な修繕等により横断歩道橋の長寿命化を目指します。対象横断歩道橋ごとの次回点検時期や修繕時期については、下表に示す条件により決定します。

	事業の基本的な実施時期
点　　検	点検は、5年ごとに行います。
事業計画見直し	事業計画は、定期的に見直しを行います。
修繕設計	修繕設計は、計画された補修工事を実施する前に行います。
修繕工事	修繕工事は、単年度に集中しないように複数年に振り分けます。

対象横断歩道橋ごとの概ねの次回点検時期及び補修内容・時期

No	橋梁名	構造形式	橋長(m)	幅員(m)	架設年次	供用年数 2026	最新点検年次	所在地	判定区分	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
1	日野台歩道橋	鋼溶接橋	45.5	1.7	1969	57	2022(R4)	大字日野３０１２番地２先	Ⅲ	△	●	●			△				
2	豊田跨線人道橋	鋼鈑桁橋	43.6	2.5	1968	58	2021(R3)	豊田四丁目45番地7先	Ⅲ	○		●	●	△					△
3	平山跨線人道橋	鋼鈑桁橋	74.6	2.5	1967	59	2021(R3)	旭が丘一丁目20番地1地先	Ⅲ		○		●	△●	●				△

【凡例】
△ ：委託点検
○ ：修繕設計
● ：修繕工事

なお、令和4年度から令和13年度までに計画している横断歩道橋の修繕に係る全体概算事業費はおよそ12.3億円（設計及び施工を含む）です。

7　横断歩道橋長寿命化修繕計画による効果

横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定することによる効果は以下のようになります。

横断歩道橋の長寿命化

点検や修繕を計画的に行う計画的管理シナリオの横断歩道橋は、重大な損傷が発見されるまで修繕を行わない従来型管理シナリオの横断歩道橋に対して長寿命化が図れます。

安全性の確保

従来型管理シナリオでは重大な損傷が発見されるまで放置されるため、健全性の低い状態にあってもその把握ができずに危険な期間が生じる可能性があります。常に健全性を把握し計画的に修繕を実施することによって、安全性が持続的に確保されることになります。

ライフサイクルコストの縮減

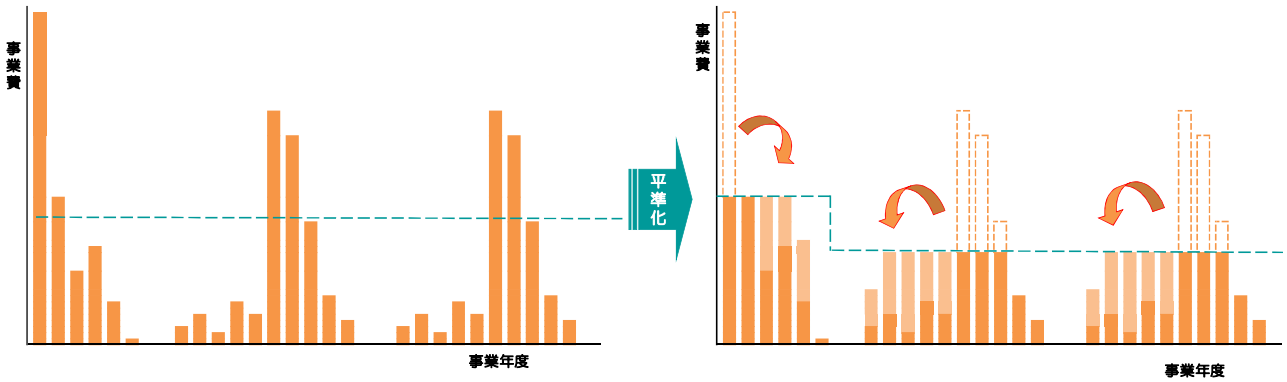
計画的に修繕を行い横断歩道橋の寿命を適切に管理することにより、架替えや大規模修繕によって工事費が大きくなる対症療法的な管理よりもライフサイクルコストの縮減が図れます。

対象横断歩道橋の計画的管理シナリオと従来型管理シナリオの累計維持管理費を算定しました。その結果、計画的管理シナリオが従来型管理シナリオの49%程度になり、50年間で約１８億円の縮減効果が見込まれます。

	従来型管理シナリオ	計画的管理シナリオ
累計LCC	約３５億円 (100%)	約17億円 (49%)

維持管理コストの平準化

維持管理に係わる費用が短期間に集中しないよう修繕実施時期を計画することにより、維持管理コストの平準化が図れます。



新技術等の活用などに関する短期的な目標の設定

◆ 新技術等の活用について

市が管理する横断歩道橋について、点検・詳細調査では「点検支援技術性能カタログ」に掲載のドローン技術や画像診断施術の導入を、補修には「新技術情報提供システム(NETIS）」に掲載の防錆材やコンクリート剥落防止・表面保護材の塗布など新工法・新材料の導入を検討し、各事業の効率化、高度化、費用縮減を図ります。

◆ 集約化・撤去について

市が管理する横断歩道橋は供用開始後50年以上が経過し、老朽化及び利用者の減少が進んでいます。今後の通学路変更や現在事業中の土地区画整理事業の進捗、日野市財政非常事態宣言解除に伴う都市計画道路3・4・24号線の工事再開等に伴い、令和19年度までに機能縮小の検討を行い、60万円程度の費用縮減を目指します。

◆ 費用縮減について

令和13年度までに、市が管理する横断歩道橋の定期点検及び補修工事に新技術を導入し、従来技術を活用した場合と比較して、1橋あたり点検1回につき約20万円の維持管理費・点検費の費用縮減、ならびに1橋あたり補修1回につき約4百万円のコスト縮減を目指します。

なお、日野市は、令和2年2月に財政非常事態宣言を行い、令和3年度より財政再建期間となり、令和７年８月に宣言を解除しましたが、今後も財政状況に留意する必要があることからも、できる限りの費用縮減を目指します。

◆ フォローアップについて

5年に1回実施する定期点検の結果、社会情勢の変化や計画の進捗状況等、必要に応じて本計画の見直し(フォローアップ)を行います。

計画策定担当部署

◆ 日野市 まちづくり部 道路課　　TEL　042-514-8422

日野市横断歩道橋長寿命化修繕計画に係る履歴等

・平成２３年　９月 ～平成２５年　３月	橋梁健全度調査実施 （横断歩道橋含む）
・平成２６年　３月	日野市橋梁長寿命化修繕計画策定 （横断歩道橋含む）
・平成２８年１０月 ～平成２９年１２月	横断歩道橋点検実施(1回目)
・令和　３年　６月 ～令和　４年　９月	横断歩道橋点検実施(２回目)
・令和　４年１０月	日野市横断歩道橋長寿命化修繕計画策定
・令和　８年　６月	横断歩道橋点検実施(３回目)
・令和　８年１０月	日野市横断歩道橋長寿命化修繕計画改定